

福島第一原子力発電所の状況

平成 27 年 3 月 2 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (3/2 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m ³ /h	15.2	3.8 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	20.5	6.36 kPa g	A系： 0.05 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	18.0	0.21 kPa g	A系： 0.07 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.07 vol%

・H27/3/1 3月分の原子炉の冷却に必要な注水量について、1号機 1.4m³/h、2号機 1.8 m³/h、3号機 1.7 m³/ h と定め、運用を開始。

<2. 使用済燃料プールの状況> (3/2 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	13.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	27.1 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.5 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	8.5 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウエルへヒドランジンの注入を適宜実施。

【6号機】

・H27/3/2 10:17 6号機使用済燃料プール冷却浄化系(以下、「FPC」)については現在運転中だが、計器定例点検を行うため停止。なお、冷却停止時の使用済燃料プール水温度は 16.6°C。3/3 まで約 30 時間停止予定。
なお、冷却停止時間におけるSFP水温度上昇率は 0.264°C/hで、停止中のSFP水温度上昇は最大で約8°Cと評価されることから、運転上の制限値65°Cに対して余裕があり、問題ない。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	3/2 10:25 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	2/23 10:39 ~2/28 9:55 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (3/2 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運 転	水バランスを みて断続運 転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- 第二モバイル型ストロンチウム除去装置の装置3については、これまで原子力規制庁による検査にて通水試験等を実施していたが、設備や機能に異常がないことが確認されたことから、H27/2/27 14:16 に連続運転を開始。運転後の状況については、14:30 に漏えい等の異常がないことを確認。
その後、残りの1基(装置1)についても、設備や機能に異常がないことが確認されたことから、H27/3/2 14:10 に連続運転を開始。運転後の状況については、同日 14:40 に漏えい等の異常がないことを確認。(同日までに合計4基の装置の運転を開始)当該装置は、必要に応じ吸着塔の交換やフィルター洗浄のため、一時的な運転停止を行いながら処理を継続していく。
- H27/3/2 8:50 頃、福島第一原子力発電所構内化学分析棟において、協力企業作業員(男性)が作業中につまずいて転倒。その後、入退域管理棟救急医療室にて医師の診察を受けていたが、診察の結果、右手首脱臼骨折の疑いがあり、緊急搬送の必要があると診断されたため、同日 9:25 に救急車を要請。緊急搬送先は、いわき市立総合磐城共立病院。なお、当該作業員の身体に放射性物質の付着はなく、自力歩行が可能な状態。
- H27/2/17 10:00 より現在待機状態となっている、非常用窒素ガス分離装置の本格点検を実施。
なお、当該点検にあたっては、特定原子力施設に係る実施計画「Ⅲ 特定原子炉施設の保安」(以下、「実施計画」)第1編第25条に定める運転上の制限を満足できない状態となるが、実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)を適用し、計画的に作業を実施。
その後、点検作業は順調に進捗し、H27/3/2 10:34 に点検作業は終了。その後の動作確認において、異常がないことから、非常用窒素ガス分離装置を待機状態とし、同日 12:05 に実施計画第1編第32条第1項(保全作業を実施する場合)の適用を解除。
- H27/2/5 ~ 3号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
H27/2/14~ 4号機海水配管トレンチの閉塞を目的とした閉塞材料の充填作業を開始。
H27/2/24~ 2号機海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を開始。
- H26/6/2~ 陸側遮水壁工事を開始。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1~12 のサンプリングを継続実施中。
- 地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日 2/17]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、2/28 10:11、海洋への排水を開始。同日 10:31 に漏えい等の異常がないことを確認。同日 16:51 に排水を停止。排水停止状態において異常のないことを確認。
排水量は 1,700m³。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔サンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上